

10月末に新校舎への引っ越しを予定していることから、2学期の始まりを1週間早くして、8月26日に始業式をしました。生徒たちの笑顔に元気をもらっています。

新校舎の工事はずいぶん進み、内装の仕上げや外構工事が進んでいます。予定通り、11月からは新校舎での授業がスタートすることになります。4階建ての新校舎には、教室の他に、学年ラウンジ、作業室、広い体育館、音楽室や理科室、カフェ、図書室などがあり、楽しみです。校舎ができるまでには、設計、建築などに関わるたくさんの方たちが、暑い日も寒い日も大雨の日も一生懸命に作業をすすめていただきました。心から感謝申し上げます。

1学期には2週間の校内実習、現場実習がありました。2学期も9月半ばから1、2年生は2週間、3年生は3週間の校内実習、現場実習を予定しています

1学期の校内実習は、1年生にとっては初めての働く経験でした。立ち仕事は疲れるのですが、日を追うごとに手際もよくなり、働くことへの意欲の高まりを感じました。特にうれしく思ったのは、あいさつがよくできる生徒が目立ってきたことです。明るいあいさつができることは、社会に出て行くために身に付けてほしい習慣の一つであり、大きな成果だと感じています。

2、3年生の現場実習もそれぞれによくがんばっていました。特に3年生にとっては現場実習が就職面接の性格を有するので、実習を乗り切るにあたって家庭の協力が得られることは心強いことでした。

社会に参加すること、就労することに向けて大切にしたいことがいくつかあります。あいさつができることも大切ですが、休まないことや遅刻しないこと(時間を守ること)や、身だしなみを整えていることなども同様に大切です。一つ一つはあまり難しいことはありません。大人としての基本的な振る舞いを、家庭とも協力しながらいねいに指導していきたいと考えています。

現場実習では、進路指導主事や担任が職場に出向く巡回指導をします。巡回指導の回数はできるだけ増やすようにしました。実習巡回では、生徒と一緒に働く職場の方々に、生徒一人一人が学校でがんばっている様子や得手不得手をいねいに伝えたり、小さな疑問に答えたりすること、生徒を具体的に応援することなどを積み重ねます。このようないねいな対応が特別支援学校の持ち味であり、社会への移行をスムーズにします。現場実習がうまく進むように、2学期の実習でもがんばりたいと思います。